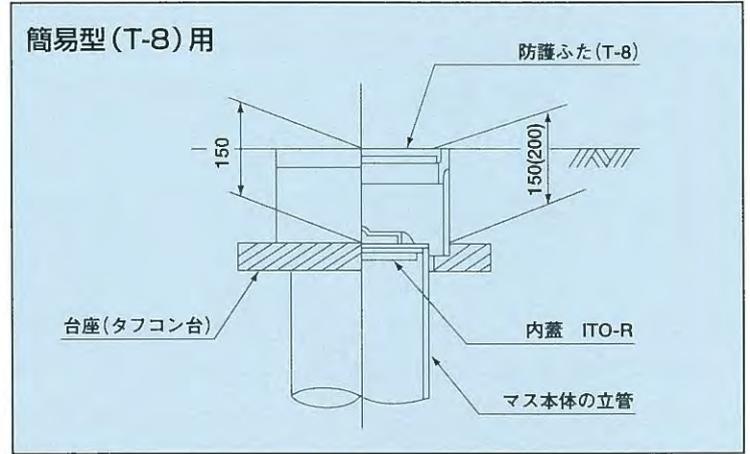
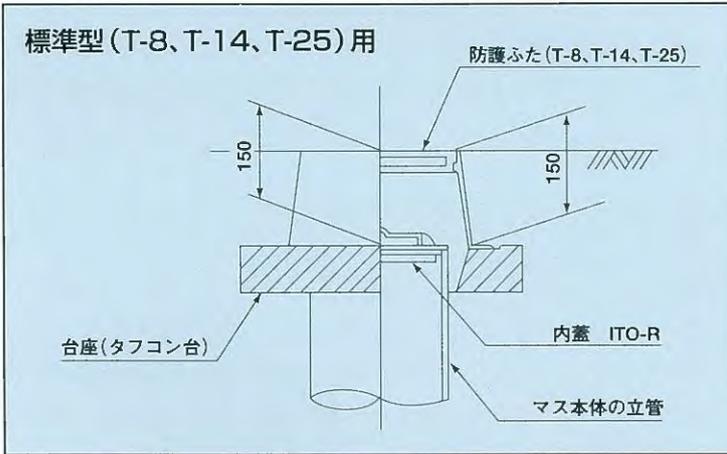
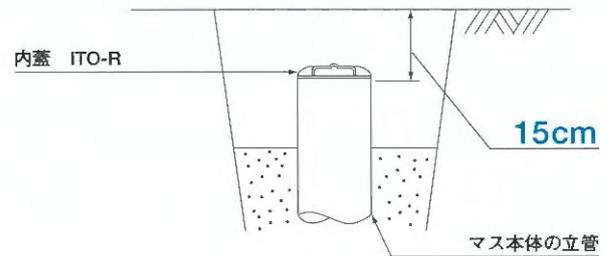


防護ふたの施工説明書



① マス本体の立管のカット

- マス本体は地表面より15cm下になるようVU管を切管調節します。



② 台座 (タフコン台) の設置

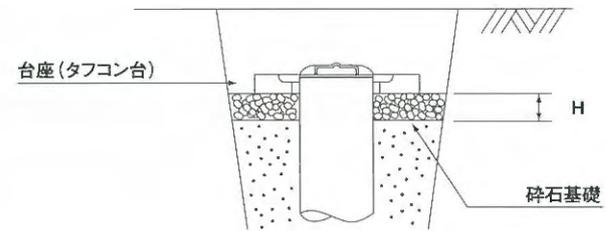
- 砕石基礎は粒調砕石など締め固めやすい良質な材料を用い十分締め固めて下さい。

(参考)

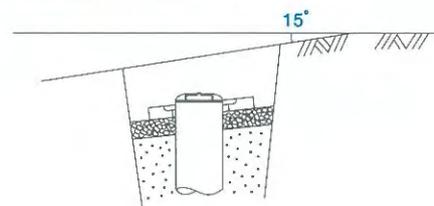
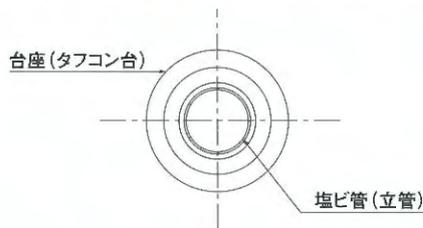
荷重の種類	砕石基礎の厚さ(H)
T-8	10cm以上
T-14, T-25	20cm以上

● 砕石基礎の厚さ(H)は各自治体の設計仕様によります。

- 砕石基礎は粒調砕石など締め固めやすい良質な材料を用い十分締め固めて下さい。
- 台座はマス本体の立管と同芯になるように据付けます。

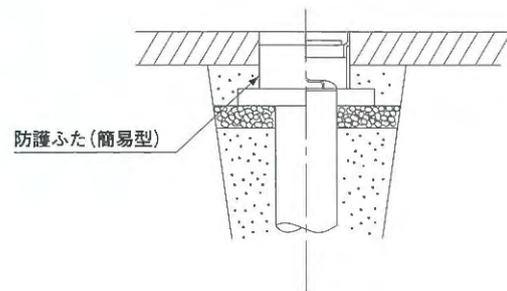


- 台座の据付面は地表面の勾配に合わせ所定の高さ勾配に仕上げます。(最大15°の傾斜面にも対応できます。)



③ 防護ふたの設置

- 防護ふたも台座と同様にマス本体の立管と同芯になるように据付けます。
- 台座一体型の防護ふたは鉄枠を回転させて台座に固定して下さい。
- 台座及び防護ふたがずれないように注意し周囲を均等に埋め戻し転圧します。また工事終了後周辺の埋め戻し土の圧密沈下により防護ふたが突出しないように特に入念に転圧して下さい。



⚠ 注意事項

- 勾配受け防護ふたは設置後必ずバールで鉄ふたと受枠が嵌合していることを確認して下さい。
- 衝撃的に鉄ふたが喰い込み外れなくなったり、受枠の傷または変形により嵌合しなくなることがあるため、鉄ふた及び受枠の表面縁部をハンマー等でたたかないでください。
- バール孔ゴムパッキン付の防護ふたには設置後、必ずバール孔にゴムパッキンをして下さい。

